

「ゼミ対抗研究発表大会 2019」を12月14日（土）に開催 ～4年間の学びの集大成！～

武蔵大学（東京都練馬区／学長 山崎 哲哉）は、学生団体武蔵大学ゼミナール連合会主催の「ゼミ対抗研究発表大会 2019」（以下、ゼミ大会）を2019年12月14日（土）に開催します。

「ゼミの武蔵」と呼ばれる所以のひとつでもあるゼミ大会は、学生により運営される経済学部の一大イベント。建学の理念である「自ら調べ自ら考える」を実践する学びの集大成の場です。単なる研究発表会ではなく、プレゼンテーションにより優勝をかけて対決する、学生たちの真剣勝負の場でもあります。また、経済学部の大会に関わらず、運営には人文学部、社会学部の学生も参加しており、多様な視点を取り入れられているのも特長のひとつです。本大会は、広く武蔵のゼミの魅力を知っていただくため一般に公開しております。

ゼミ大会の特長

1. 単なる研究発表会ではなく、プレゼンテーションで優勝をかけて真剣勝負する。
2. 教員だけでなく、実業界で活躍する卒業生が企業人の立場から審査、助言、指導を行う。
3. 論理一貫性、資料の明確さなど、社会人としても通用する力を意識した、明確な審査基準が設けられている。
4. チャレンジ枠があり、学生・学部を問わず全ての学生が参加する。

ゼミ大会の概要

■日時：2019年12月14日（土）13：00開会（受付12：00）※予約不要・入場無料

■タイムテーブル：

- 13：00～ 研究発表（発表会場は当日掲示）
（各ブロック5グループが参加、1グループあたり20分程度発表する）
- 17：30～ 発表者懇親会（8号館8階50周年記念ホール）
- 18：00～ 来場者懇親会（1号館2階1203教室）

■会場：武蔵大学 江古田キャンパス

■発表者：武蔵大学経済学部ゼミ生 7ブロック*31グループ、

チャレンジ(同窓会)枠5グループ

（*7ブロック：経済経営A、経済経営B、経営金融、経済、経営、金融、会計金融）



↑ 昨年のゼミ大会の様子

武蔵大学ゼミナール連合会について

1961年（昭和36年）に発足した学生団体で、主にゼミ大会の企画・広報、協賛企業探し、当日の運営を行っている。ゼミ大会に備え、卒業生を講師に招いた「プレゼン講座」「講演会」などを行うほか、新入生向けゼミ紹介冊子の作成、様々なゼミ活動を取材しTwitterで発信するなど、ゼミ活性化のための活動を幅広く行っている。

■武蔵大学〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕 ～都心に近く 緑豊かなワンキャンパス～

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立旧制七年制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。武蔵大学は、経済、人文、社会の3学部8学科からなる文系総合大学。一年次から4年間のゼミナールが必修で「ゼミの武蔵」といわれる。近年ではロンドン大学の学位が取得できるプログラムや国際村の設置などグローバル教育にも力を入れている。

学長 山崎哲哉 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1

—本件に関するお問い合わせ先—

武蔵大学 広報室 担当：西・齋藤（にし・さいとう）

TEL：03-5984-3813 FAX：03-5984-3727 E-mail：pubg-r@mml.sec.musashi.ac.jp